

## 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

### メッセージ36

#### コロサイ人への手紙において（1） 聖徒たちの分け前

聖書：コロサイ1:12-13. 出3:8. 申8:7-10. 26:9

I. 首位であり、すべてを含む方としてのキリストは、光の中で、また神の愛する御子の王国において聖徒たちに割り当てられた分け前です——コロサイ1:12-13:

A. 割り当てられた分け前は、嗣業の分け前を指しています。それは、カナンの良き地の分け前が、イスラエルの子たちに彼らの嗣業として与えられたことによって例証されます——ヨシュア14:1. 参照、創13:14-15, 17. 歴代上4:9-10。

B. 新約の信者たちの割り当てられた分け前は、物質の地ではありません。それは、命の与える霊としてのすべてを含むキリストです——コロサイ2:6-7. ガラテヤ3:14. 5:16. ローマ8:4:

1. 良き地の豊富は、彼の霊の中にある彼の信者たちに対する満ちあふれる供給としてのさまざまな面におけるキリストの計り知れない豊富を予表します——申8:7-10. エペソ3:8. ピリピ1:19。

2. キリストにある信者たちは、地の豊富を享受することによって建造されて、神の家また神の王国としてのキリストのからだとなります——エペソ1:22-23. 2:21-22. Iテモテ3:15. マタイ16:18-19. ローマ14:17。

II. 神の召しの目的は、神の選ばれた民をすべてを含むキリストの享受の中へともたすことです。すべてを含むキリストは、乳と蜜の流れる良き地によって予表されています——出3:8. Iコリント1:2, 9:

A. 乳と蜜は、動物の命と植物の命の両方が混ざり合わされたものであり、キリストの命の二つの面です。それは贖う面と生み出す面です——申8:8. 26:9. 参照、ヨハネ1:29. 12:24:

1. キリストの命の贖う面は、わたしたちの法理的な贖いのためであり、キリストの命の生み出す面は、わたしたちの有機的な救いのためです——1:29. 12:24. 啓2:7. 22:14. ローマ5:10。

2. 主の食卓のしるしが表徴するのは、神の全体的な救いのためのキリストの命の贖い生み出す面です。こうして、良き地はわたしたちの享受のための食卓、宴席となっています——マタイ26:26-28. Iコリント10:17。

B. わたしたちはキリストを乳と蜜の地として享受することによって、乳と蜜としての彼によって構成されます——「わが花嫁よ、あなたの唇は蜂蜜をしたたらせ、あなたの舌の下には蜜と乳がある」——雅4:11前半、Iペテロ2:2、詩119:103。

Ⅲ. 良き地は小麦の地であり、小麦は制限を受けたキリスト、すなわち肉体と成り、十字架につけられ、葬られた方を予表します——申8:8、ヨハネ12:24:

A. わたしたちは、わたしたちを制限し、わたしたちを圧迫する状況のただ中で、主を一粒の麦として経験します——24-26節前半、啓1:9、使徒16:7:

1. わたしたちは、制限し限定する環境において主と接触するとき、彼が有限な人と成った無限の神であり、彼の中にはどんな種類の制限にも耐える力があることを認識します——ピリピ4:13。

2. わたしたちの命であるキリストは、一粒の麦としてわたしたちの内側におられ、肉体と成った方、制限を受けた方の命を生きます。彼はわたしたちの命であり、わたしたちが進んで制限を受け、死んで、葬られるようにします——コロサイ1:27、3:4。

3. もしわたしたちが主と接触するなら、彼を一粒の麦として経験します。そして彼の中でわたしたちは自分の状況に満足します——ピリピ4:11-12。

B. パウロは、自分自身をキリスト・イエスの囚人と考え、一見して物質の獄に監禁されていました。彼は実はキリストの中に捕らえられていたのです——エペソ3:1、4:1。

C. 最終的に、キリストを忠信に愛するすべて者は、キリストによってだけではなく、キリストの中に捕らえられます。わたしたちは彼を愛すれば愛するほど、彼がわたしたちの獄となるという程度にまで彼の中にいるようになります。その獄においてわたしたちは彼を極みまで享受することができます——ピリピ4:4。

Ⅳ. 良き地は大麥の地であり、大麥は復活したキリストを予表します——申8:8:

A. 大麥は早く熟すので、それは収穫の初穂です——復活したキリストの予表——Iコリント15:20、レビ23:10。

B. 初穂として、キリストは命のパンとなりました。このゆえに大麥のパンは、復活の中でわたしたちにとって食物であるキリストを表徴します——ヨハネ6:48、申8:9前半:

1. 五という数字は責任を表徴します。これは、復活したキリストが責任を負うことができることを示します——ヨハネ6:9。

2. わたしたちは大麦のパンとしてのキリストを常食とするとき、大麦のパンとなって、わたしたちが経験したキリストをもって他の人を養います——参照、士7:13-14。

C. 小麦、すなわち制限を受けたイエスを経験するために、わたしたちは、大麦、すなわち無限のキリストを適用する必要があります。わたしたちは復活したキリストの力の中で制限を受けたイエスに従います——ヘブル13:12-13。

D. わたしたちは、わたしたちを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができます。なぜなら、彼は復活した、無限のキリストであるからです——ピリピ4:13。

V. 良き地はぶどうの木であり、ぶどうの木は自らを犠牲にするキリスト、ご自身のすべてを犠牲にするキリストを予表します。彼はご自身の犠牲から新しいぶどう酒を生み出して、神と人を活気づけます——申8:8. 士9:13. 詩104:15前半：

A. キリストはぶどう酒を生み出す方であり、ご自身を犠牲にしてぶどう酒を生み出し、神と他の人を活気づけます。わたしたちがぶどうの木によって予表されるキリストと接触し、彼の自らを犠牲にする命を経験するなら、彼はわたしたちに活力を与えて、犠牲の命を生きさせ、ぶどう酒を生み出して、他の人と主ご自身を活気づけます——ローマ12:1. エペソ5:2. IIコリント1:24。

B. わたしたちは、自分自身の中では犠牲の命を生きすることはできません。なぜなら、わたしたちの命は天然の命、利己的な命であるからです——ヨブ2:4. マタイ16:25：

1. わたしたちが主と接触し、彼の自らを犠牲にする命を経験するなら、彼はわたしたちに活力を与え、わたしたちを増強して、神のためと他の人のために自らを犠牲にさせます——ピリピ4:13. ローマ12:1. エペソ5:2。

2. わたしたちはぶどうの木としてのキリストと、彼の自らを犠牲にする命を経験すればするほど、ますます活力が与えられて、自分自身を犠牲にし、神と他の人を幸いにします：

a. わたしたちは、最も幸いな人とは最も利己的でない人であることを認識するとき、幸いに「酔い」ます。

b. わたしたちは、わたしたちと接触する人たちに幸いをもたらし、神に活力をもたらします——IIコリント1:24. 5:13前半。

VI. 良き地はいちじくの木であり、いちじくはわたしたちの供給としてのキリストの甘さと満足を表徴します——申8:8. 民13:23. 士9:11：

- A. パウロは、彼の供給としてのキリストの甘さと満足を経験し、享受した者の模範です——ピリピ1:7, 18-19. 2:17-18. 3:1. 4:4, 10-13。
- B. パウロの願いは、この世を去ってキリストと共にいることでしたが、彼はその信仰に対する聖徒たちの進歩と喜びのために、進んで肉体の中にとどまりました——1:21-26:
1. 経路としてのパウロを通して、聖徒たちはキリストを経験し、その信仰に対する進歩と喜びを持つことができました——25節。
  2. 今日、供給の経路に対する緊急の必要があります。もし聖徒たちがキリストを経験したいなら、だれかが供給の経路として仕えなければなりません。
- C. パウロは恵みにあずかる者であり、主の中で大いに喜んでいました。彼は主の中で幸いであり、彼の幸いは時間の経過と共に減少することはありませんでした——4節. 2:2. 3:1. 4:4, 10。
- D. パウロはからだを通して、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を受けました。恵みとは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、キリストの中でわたしたちの享受としてわたしたちに伝達される神です——23節. 1:19。

**VII. 良き地はざくろの地であり、ざくろは命の豊満、命の満ちあふれと美しさ、命の豊富の表現を予表します——申8:8. 出28:33-34. 列王上7:18-20:**

- A. ざくろと金の鈴は、大祭司の上服の下の部分に付いていました。大祭司の上服は召会を表徴します——出28:33-34。
- B. 召会はその人性において命に満ちているべきです。これが亜麻布でできたざくろの意義です。
- C. 召会には命の豊満の表現のための人性と、金の鈴を鳴らすための神性があります:
1. 命の豊満は召会の人性において表現されますが、警告の声は召会の神性（金の鈴）において表現されます——35節。
  2. わたしたちはまず命の豊満の表現を持ち、次に金の鈴が鳴ること、すなわち召会の神性からの語りかけを持ちます。
  3. わたしたちの人性において表現される命の美しさと、金の鈴からの神聖な音は、正しい召会生活のしるしです。

**VII. 良き地はオリブの木の地であり、オリブの木はその霊で満たされ、油塗られた方としてのキリストを予表します——申8:8. ゼカリヤ4:12:**

- A. オリブの木の油は聖霊を予表し、それは神と人を尊ぶために用いられます

——士9:9. 参照、サムエル上2:30：

1. わたしたちは聖霊がなければ、主に仕えたり、他の人を助けたりすることができません——使徒6:3。
  2. わたしたちは主に仕え、他の人を助けるために、その霊で満たされていなければなりません。わたしたちはその霊で満たされてはじめて、神を尊び、他の人を尊ぶことができます。
- B. わたしたちはキリストを他の人に供給し、彼らに油を供給するとき、彼らに神（金）を供給しています——ゼカリヤ4:11-12：
1. わたしたちはみな、自分自身から神を空にして他の人に供給するオリーブの木であるべきです。
  2. このようにして、神が流れ出ているオリーブの木である人たちによって、油は必要のある人たちに提供されます。
- C. クリスチャンとしてわたしたちがオリーブの木であるのは、別々の木であるという意味ではなく、唯一のオリーブの木であるキリストの枝であるという意味においてです——11-12節：
1. キリストは唯一のオリーブの木ですが、彼から多くの枝、多くの若枝が出てきました。これらの枝、あるいは若枝は、今日、地上で多くのオリーブの木です。
  2. わたしたちは唯一のオリーブの木であるキリストの枝として、他の人に油、すなわちその霊を供給する必要があります。それは、彼らが神の唯一の証しのために生かされるためです。